

令和2年度フィールド自治体型政策研究会 フィールド自治体募集概要

1 政策研究会の趣旨

ふくしま自治研修センターでは、地域の有する特定課題をテーマに公募等で集まった自治体等職員が少人数のグループをつくり、テーマに関連する有識者等を講師に招いての勉強会やグループ討論などを通して知識を深め、課題解決へ向けた具体的な施策や事業を提言する「政策研究会」を実施しております。

フィールド自治体型の政策研究会は、フィールド自治体における現実の課題をテーマに、多様な地域の職員等“よそ者”の視点を生かしながら、事業化を見据えた実践的な政策提言をまとめ、当該自治体に提案するスキームにより実施いたします。

2 フィールド自治体型政策研究会活動方針

多様な地域や職種の職員等がともにフィールド自治体が直面している重要課題を掘り下げ、解決策を考えることにより、政策形成のプロセスを実践的に学びながら、翌年度の事業化を見据えた実効性の高い政策を提案する政策研究会とする。

3 活動のねらい

- ① フィールド自治体の現状と課題を客観的に把握し、民間や多地域・多様な職種の職員等による新しい視点や発想を生かしながら、予算要求をイメージした実現性の高い政策を提言する。
- ② 政策形成のプロセスやテクニックを習得し、職種や業務に関係なく、自治体職員として身につけたい政策形成能力の向上に資する。また、民間人を交えたグループワークにより多様な考え方に触れることで、自治体職員の視野が広がるなど職員の資質向上に寄与する。
- ③ 現地調査及び先進地視察を通じて、現場を視て声を聴き、地域のニーズを的確に捉えた説得力のある政策を提言する。

4 活動概要

(1) グループ編成

研究生は、公募等によりフィールド自治体が提示した課題から興味あるテーマを選択して活動に参加する。また、フィールド自治体と関わりのある民間企業、団体、NPO等の社員等の参加も受け入れる（1グループ1～2名まで）。1グループは、6名以内とする。

(2) コーディネーター及びサポーター

当センター総括支援アドバイザーが研究会のコーディネーターとして政策提言へ向けてアドバイスを行う。

政策支援部職員は、事務局として研究会の企画及び運営、調整、進行、事務手続きのほか各グループのサポーターとしてグループの進捗状況を把握し、バックアップする。

(3) 開催期間及び活動

ア 5月～10月の期間中に月1回～2回の研究会を開催する。

イ 初回をフィールド自治体で開催し、当該自治体の幹部等職員から課題を提示いただく（現地視察等も可）。

ウ 中盤には集中ワークショップとして当センターでの宿泊研究会や調査研究の状況により先進地視察を予定する。

エ グループ討論、グループワークに加え、課題テーマに関する著名な有識者等を招いた意見交換会を実施する（フィールド自治体での開催により研究生以外の自治体職員の参加も検討）。

(4) 成果発表会

フィールド自治体の予算要求スケジュールに併せて、研究成果を政策提言にまとめて発表する。フィールド自治体には、首長等幹部職員に参加いただき、提言内容に講評をいただく。

(5) 提言のフォローアップ

発表会后、フィールド自治体で事業化を検討し、結果を当センターに報告いただく。事業化検討の結果について、発表会資料とともに当センターHPで公表する。

(6) 費用負担について

研究会への参加にかかる旅費等の経費は派遣元の所属で負担する。

現地調査及び先進地視察により発生する経費（現地集合後のバス借り上げ料、レンタカー代、施設への入場料等）は別途規程に基づきセンターの負担とする。

5 フィールド自治体の役割

(1) 貴自治体が直面している課題を提示いただきます（最大2つ）。

分野は、主に産業振興、観光振興、地域振興、まちづくり、生活環境、保健福祉などに関するものです。

(2) 1課題につき1名の貴自治体職員の参加を想定願います。

- (3) 提言された政策について、事業化を検討し、検討結果を当センターへフィードバックしてください（一部採用や既存事業への組み入れ等も可）。
- (4) 課題に応じたフィールドワーク等（現場の視察や関係者へのヒアリング等）へご協力ください。
- (5) 第1回研究会及び最終の政策提言発表会に貴自治体の首長等幹部職員に積極的にご出席いただき、研究生の激励や提言内容の講評をお願いします。

6 活動計画（イメージ）

活動年度（令和2年度）

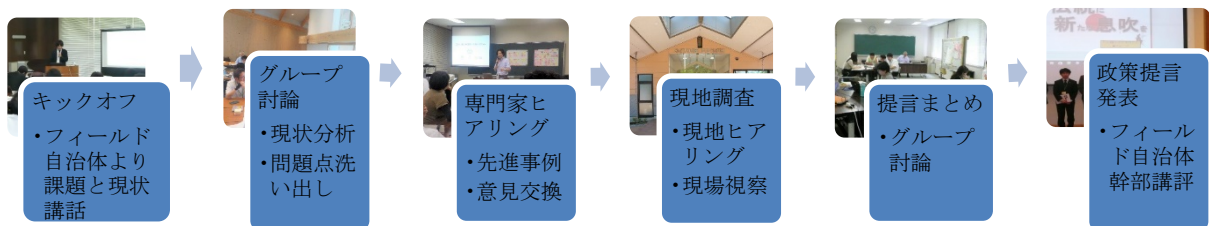
時期	活動内容
4月	研究生募集
5月	研究会キックオフ（フィールド自治体にて開催）
6月	研究会（分科会と併せて2回想定） テーマ分科会
7月	テーマ分科会 現地調査、先進地視察等検討
8月	研究会（宿泊研究会と併せて2回想定） 中間発表
9月	研究会（2回想定） 先進地調査、ヒアリング 提言まとめ
10月末（想定）	成果発表会
12月～2月	事業化検討結果フィードバック HPにて公表

注) テーマ分科会は、自治体から提示いただいた課題が二つある場合を想定している。

政策研究会活動イメージ

活動の特色

- ◆ 調査研究テーマは、フィールド自治体のリアルな課題とし、解決策を提案します。
- ◆ 1グループは6名以内。自治体職員だけでなくテーマに関連する団体等からも参画して、多様なメンバーにより実効性を高めます。
- ◆ フィールド自治体の次年度事業化を見据えたスケジュールで活動します。
- ◆ 研究会は月1～2回（1回当たり半日または1日）にてフィールド自治体での出張開催やセンター宿泊での集中ワークショップも実施します。
- ◆ フィールド自治体の現地調査だけでなく、必要に応じて先進地視察可能です。



フィールド自治体の役割

- ◆ キックオフ（第1回研究会）にて首長等幹部から現状と課題を講話いただき、フィールド自治体のリアルな状況を説明いただく
- ◆ 政策研究会活動に貴自治体の職員が研究員として参加していただく
- ◆ フィールド自治体における現地調査・ヒアリングの調整等に協力いただく
- ◆ 政策研究会の出張開催における場所確保等協力いただく
- ◆ 政策提言の発表会に首長等幹部に出席いただき、講評いただく等